

グローバル物流企業が貿易管理ツールで 業務最適化と迅速化を実現

輸出入に関する統合データが貿易業務担当の能力を強化



1

企業について

100カ国以上に20,000人を超える従業員を抱え、グローバル物流企業として年間10億ドルの売上を誇る上場企業で、サプライチェーンおよび物流業界を牽引するリーダー的な存在です。企業方針として、新たなテクノロジー、革新と持続可能性を前面に掲げており、その子会社も、電子商取引、不動産、インフラの分野で様々なサービスを提供しています。

2

課題

大手物流企業である同社は、デジタルトランスフォーメーションに着手するにあたり、プロセスの革新および先進技術を用いて、グローバル規模で競争優位に立つことを目指していました。その一環として、幅広く、かつ正確な最新規制情報を、グローバルな分類、検証、各種許可の管理といった用途に利用し、効率的な関税管理など、重要なワークフローの合理化および自動化に対応できる国際貿易業務ソリューションを求めていました。

従来これらのプロセスは手作業で行われ、複数のウェブサイトや紙ベースのデータから貿易コンプライアンスに関する情報を得ていました。そのため、作業の効率化とリスクの軽減を実現し、コンプライアンスの信頼性を高めるために、社内のチームが一元化された情報に容易にデジタルアクセスできる環境が必要でした。このアプローチには生産性と効率性を高めるだけでなく、ビッグデータからより多くの価値ある情報を引き出し、ビジネス上の分析に活用できる可能性も秘めていました。

3 リスクの低減とコンプライアンス管理の向上

まず同社は、国際貿易業務に特化したテクノロジー・サービス・プロバイダーについて調査を行い、広範囲に及ぶデューデリジェンスのプロセスを経て、トムソン・ロイターと提携することを決定しました。トムソン・ロイターはONESOURCE Global Trade Contentの導入に際し、コンサルティング、連携、開発を行いました。稼働に先立ち、検証プロジェクトやワークショップを多数実施し、確実にすべてのユーザーのニーズを把握するよう努めました。会長から実務者レベルに至るすべてのユーザーが動作テストを行い、製品の微調整を行いました。

導入後、同社の貿易コンプライアンスチームは、世界中の国や地域の最新の規制データを瞬時に入手し、より効率的かつ生産的に日常業務ができるようになりました。その信頼性より、ONESOURCE Global Trade Contentは企業全体にわたり、広く受け入れられていきました。同企業は、信頼できる貿易コンプライアンス情報に容易にアクセスすることにより、多くのプロセスを合理化し、コンプライアンス能力を高め、リソースを最適化し、リスクを軽減することができたのです。

4 デジタルトランスフォーメーションの適切な実施

情報を手元に置き、プロセスの効率化を図ることで、社内で製品の使用に対する信頼が築かれていきました。ONESOURCE Global Trade Contentは社内全体にわたりとても広く受け入れられていますが、特に、リスクの高い管轄区域で高く評価されています。

また、ここ数カ月のかつてないペースで更新される規制の変化に対応することにも役立っています。関税や規制が導入または更新される度に、会社のシステムに即座に更新されます。現在では、監査役や規制当局に対し、同社の貿易コンプライアンスのプロセスおよびプロトコルが、世界レベルの技術と正確なデータによって支えられていることを難なく示すことができるようになりました。

同社は今後、自動化ツールや先進デジタル機能を活用して、業務プロセスの更なる削減を目指しています。人間の介入を必要最低限に抑えながら、複数の貿易コンプライアンス活動を自動的に実行し、検証可能とすることが主な目的です。エンド・ツー・エンドの貿易コンプライアンスの自動化により、同社は、効率化、コスト削減、リスク管理の観点から恩恵を受けることとなり、なおかつ従業員を時間のかかる作業から解放し、その貴重な人的資源を戦略上におけるより重要な業務に再配置することが可能となるでしょう。

トムソン・ロイターのONESOURCE Global Trade Contentが
国際貿易コンプライアンスの効率化をサポートします

お問い合わせ
marketingjp@thomsonreuters.com

THOMSON REUTERS
ONESOURCE™